

富山市総合計画審議会「第1回 活力・交流部会」 議事録

日時：令和3年8月5日（木）10:30～12:00

場所：富山市役所 第4委員会室

出席者：（順不同）

長尾 治明 富山国際大学名誉教授
麦野 英順 富山経済同友会代表幹事
石田 康博 日本労働組合総連合会富山県連合会富山地域協議会議長
四宮 敏雄 公募委員
中井 義則 八尾地域自治振興連合会会長
星川 圭介 富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科教授
森田 由樹子 株式会社エコロの森代表取締役

企画管理部 前田部長、児島企画調整課長代理、屋敷企画調整課主任
商工労働部 大場部長
農林水産部 山口部長
活力都市創造部 中村次長
教育委員会 高橋生涯学習課長

議事内容：

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 部会長職務代理者の指名

部会長から、麦野英順委員を部会長職務代理者に指名。

4. 第2次富山市総合計画前期基本計画（案）について

資料「第2次富山市総合計画後期基本計画（案）」に基づき事務局から説明。

部会長

- ・ 活力交流は分野も広がりがあり、いろんな視点が入っている。
- ・ これから自由討議ということで、各委員の皆様のご意見をいただいて、議論をしていきたい。

委員

- ・ 私は地元ツアー会社で観光に携わっているが、今はコロナの影響が大きく、観光客は激減している。今後を考えると、地域の魅力やSDGsなどにより観光資源を磨き上げ、新しい観光の姿を見据えていく必要がある。例えばガラスも芸術文化だけでなく観光に取り入れると良い。
- ・ 観光入込数も多ければ良いわけではない。このような状況で団体客も来ない。個人に質の良いものにお金を使ってもらえるようなことが必要である。地元の人と交流するようなこともあったら良い。

- ・ 地域の人が観光ボランティアに興味を持つようなことも大事であり、観光サポーターをシビックプライドの観点で取り組むような連携が必要ではないか。

部会長

- ・ 今ご指摘があった点について、これから5年間の趨勢を考えると、コロナのダメージも大きく、個人客や小グループの観光客が増えていくと思うので、そのデータを掲載した方がいいのではないか。計画にスペースがあれば団体と個人のデータを両方示しておいたほうが良い。

委員

- ・ 中心商店街をこの富山市の機能の中でどう位置付けていくかというところをもう少し明確にした方がいいのではないか。
- ・ 総曲輪 BASE が新たに出来たことで人が増えてきたが、そこからどういうふうな行動を期待するのかというのが見えてこない。また、新たにどういったところが出店するのか、どういった支援策が効果的なのかということがわからない。
- ・ 駅前には新幹線ができてから色々と活性化し、商業施設が増えているが、駅前と中心商店街で2極化している。このエリアをどういうふう位置付けていくか、もう少しあった方が現実的な施策を踏みやすいのではないか。
- ・ 市民の役割について、「地域の商店街が行う活動への積極的な参加」とあるが、商店街のイベントは昔から地域を支えてきた店主であり、こういうことで地域を支えているんだという人たちがやっていて、それは非常にいいことであるが、果たして持続的なのか。
- ・ 商店街に関して、それぞれの地域においてどういう機能を担わせるのかというところ。都市機能誘導区域があり、商店街と関連させてどういった機能を残すのか、明確なビジョンをもう少し明らかにしていく。商店街を担っている人もどんどん変わってしまうので、今のうちに整理が必要ではないか。
- ・ 農業関係で、指標として示している「1経営体あたりの平均耕作面積」は「平均」でいいのか。集落営農や法人と個人のものであり、平均を目標にすると訳がわからなくなってしまう。どっちが増えたのかわからない。指標としては、認定農業者から経営体に変更しており、認定農業者が増えなくて、この農業法人経営が維持されているところに関わっていると思うが、やはり平均というのはどうか。その辺の実態を考えて整理したほうが良いのではないか。
- ・ 農業サポーターの登録委託目標が900人になっているが、農業サポーターは1巡して頭打ちになっていると思われる。そうすると、この目標は難しいのではないか。経営側のニーズを踏まえて設定されているのか。もう少し精査された方がいいと考える。
- ・ 全体的なこと言うと富山市は平地とか扇状地のところが多い一方、山田とか結構中山間が多いところで、エゴマとかパソコンで変えてくれるとなっているが、もう少し構造的にどうするのか、過疎の問題とリンクしているのかという視点もあった方がいいと思う。

部会長

- ・ 駅前と中心商店街との二極化が鮮明になってきている。
- ・ 駅前や中心商店街がどのような役割、機能をこれから果たしていけばいいかという書き込みもあればいいのではないか。

- ・ 特に駅前はこの2、3年に、ホテルの開設が進み、世界的に有名なヒルトンホテルまで進出してきて、駅前の魅力が増している。この辺の一带が今後5年間で、まちづくりあるいは経済にどのような影響を与えるかという視点を加えてもいいのではないかと。
- ・ アピアの増改築で1万人規模のアリーナができるようなことも報道されていたが、このあたりが今後どのような影響を与え、市としては、どんな役割、機能を果たして欲しいといったことを書き込んでもいいのではないかと。
- ・ 計画案の130ページの市民に期待する役割について、「地域の商店街が行う活動への積極的な参加」を市民に促していると思うが、商店街の結束や魅力をもっと充実強化していくためにも、商店街を構成している商店の様々な活動への参加がもっと必要ではないかと。
- ・ 市民に期待する役割とは関係ないかもしれないが、商店街を構成する店舗の積極的な様々な活動への参加、一体感を持ってやっていくことが必要ではないかと。その辺の点をちょっと工夫していただければと感じた。

事務局

- ・ ご意見の中に農業の関係で中山間地の話があったが、計画案の118ページ、今の部会の目標Ⅲではなく、目標Ⅱになるが、安心安全で持続性のある魅力的なまちの政策3. 潤いと安らぎのあるまちづくりに「中山間地域の振興」という形で分かれており、そこで記述があることを示させていただく。
- ・ また、116ページに森林の振興ということについても記載されている。それもご覧になっていただきたい。

部会長

- ・ そのような関連事項何ページを参照など書いていただくと、ここと関連して、ここに方針が書かれているなどわかるのではないかと。そのような工夫もぜひお願いしたい。

委員

- ・ 一応私も自営業が長くて、サラリーマンもやってきたが、その中でやっぱりメインでやってきたのは自分で野菜を作ること。今は有機的な栽培をやっていて、余った分は福祉関係のところに使ってもらったりしている。今非常に食の安全性が落ちてきている。子供たちにこうやって野菜を作ったらおいしいということをもっと広げていきたい。
- ・ 先ほど駅前ホテルの話もあったが、商店街は老朽化している。商店街の人たちも売却費用より解体費用のほうが高くなることや税金の関係などでやめるにやめられない。市としてまちなかの活性化を考えるとすれば、税制を考える必要がある。
- ・ 今こういう時期で、企業は仕事が少なくなってきている、一方、農業も従事者が減ってきている。だから企業としても積極的に遊休地であるとか、耕作放棄地を農業に活用して、従業員、近隣住民、上の人たちが、もう少し農業であるとか食事に関心を持てるような環境を作れないかと思っている。
- ・ 観光に関して、北海道から来た知人が富山に遊びに来た際に、知人から富山は箱庭観光だねと言われた。これは県全体で観光に関する勉強をもう少し考えてもらいたいと思う。

委員

- ・ 私の方からの労働組合、あるいはこの地域で働いて暮らしている、そういう視点で意見を申し上げる。
- ・ 雇用分野の関係については、雇用施策はやはり国や県やといったところがメインであり、年次有給休暇といったところも、会社の中、あるいは労使でとなるので、なかなか市として推進が難しいことはわかるが、こういう中でも実態として若い人、若年層については、就業上の意識というのは、この会社で長く勤め上げるというより、雇用の流動化のようなものがあるのが実態で、高齢層の方にとっては、育児もそうだが、介護を理由として、地域を選ぶという方もおり、そういった育児、介護への支援の仕組み必要ではないかということを書いてきた。
- ・ メンタルヘルスの不調者の課題を雇用関係とか職場の課題として焦点当てるべきだと考えている。
- ・ 育児休業も大変重要な施策であるが、介護休業の充実みたいなところも合わせて情報提供することを市の役割としてやっていただきたい。
- ・ 労働力不足といった点で、様々なICTの活用といった記載もあり、高齢者、障害者、ひとり親など多様な人材活用とあるが、もう一つはやはり外国人労働者の活用について、私は継続して意見を申し上げている。外国人が過ごしやすいまちづくり、あるいは、多文化共生のまちづくりといったキーワードで書かれているが、外国人の働きやすさ、生活支援をするようなボランティアの方を育成していくことも重要ではないか。
- ・ この部会で付託された内容とはちょっと違うのかもしれないが、私なりに中心商店街の活性化といった面で、富山はやはり車社会で中心商店街付近でも大変車の混雑がひどい。やはり公共交通を軸としたまちづくりを一層進めていただくことが中心街に足を運ばせるという一つの手段だと思う。パークアンドライドの整理をするなど。日曜日にまちなかに行こうと言った時に車で来て、混雑しているような状況が浮かんでくると住民の足が向かない。
- ・ 観光バスが駅前に入って行って、観光バスがたくさん駐車できるようなスペースが、今の計画の中で描かれていないのではないかなと思う。玄関口である富山駅においていろいろと整備が進んでいるので、その中でスペースを確保し、充実を図れないか。

委員

- ・ 農業の件について、現状に対する対策も書いているが、私は自営で農業をやっていたり、現在、農業委員もやっている中でいろんな問題点がある。
- ・ 耕作面積による農業というのはもうこれから出来ないというふうになると思う。やはり担い手をいかに育成するか、農業自身いかに収益率を上げるか、高所得につなげるか、そのようなことが非常に課題としてあろうかなと思う。
- ・ 課題の中でも、耕作放棄地が現在富山県でも非常に増加している。それが鳥獣被害の拡大にも繋がっている。それがなぜかというとな農業者の高齢化にある。特に富山県の場合は、農業者の平均年齢が70歳以上であり、全国よりも非常に高い高齢化率になっている。そのような中で現状の田んぼ、農地をいかに守るか。若い世代の担い手をいかに増やすか。それから、増やしながらか経営規模をいかに拡大するか。そしてそれが高収益に繋がっていくということになる。ただし、大型機械にしなければ大規模経営はできない。市として、県として、あるいは国として農家への経営コストをいかに低減させてあげるか。費用対策を検討していく必要があるかなと思う。
- ・ 特に土地持ち農家は富山県で結構多い。その農地を営農組合、あるいは法人が耕作しているが、そこ

で農業用排水の改修工事が毎年発生しており、農業用排水の改修費用は耕作者が払うのか土地の持ち主が払うのかということが各地域で大きな問題になっている。

- ・ 国は土地の集積、集約率を 80%にすると目標にしており、富山県は 60%前後だったと思うが、この農地の集積集約をすることによって発生する費用の負担を軽減し、農家が負担するのか土地の持ち主が負担するのかということも含めて、対策をとりながら強い農林水産業への対策をとっていただけたらと思う。

委員

- ・ 住み続けたいランキングの紹介があったが、ランキングが示すように住みやすく、住み続けたいと思っているとすれば、人は減らないだろう。要は若い人が出ていって、帰ってくるだろうということ。自然減は仕方がないが社会減はやっぱり魅力がないということ。そこを認めて始めなければならない。生産年齢人口が減っている中、農家を担う人を増やさなきゃいけないというふうに考えるが、そのようなことができるのか。まずは、生産年齢という考え方をやめるべきである。昭和 40 年ぐらいから始まった生産年齢で人口的には年齢 15 歳から 65 歳まで働いている人の数、昭和 40 年には 15 歳でも働いている人がいたかもしれないが、今どれだけの人が 15 歳から働いているのか。昭和 40 年の時の平均寿命は 60 歳。それから定年は 55 歳。今の寿命は 85 歳、定年は 65 歳になっているにも関わらず、いまだに生産年齢人口を使っている。生産年齢人口というのをやめて、労働力人口、働く人の人口を増やすことに意味がある。
- ・ 人口が減るのは、富山で生まれた人が大学へ進学する時と働く時、いわゆる 18 歳と 22 歳の時に富山から出ていく。結婚して子供がいて、富山に帰ってきたいと思っても、奥さんがなぜ富山なのかという話になり、帰ってこない。若い人はいろんなところを見たいわけで、海外にも行きたい。最後に富山で働こうという気になることが大事ではないか。
- ・ 富山は教育県と言われるが、私は進学県だと思う。進学することに価値を感じている。高校は普通科が多いが、将来自分たちは何をやりたいか想定もできていない。農業などに意識も向かない。普通科ばかりじゃなく、もっと専門学校や違う学科を充実させるべきである。
- ・ 商店街で商店をやっている人がやる気を出さないと活性化は無理である。
- ・ 中心市街地について、富山県の中学生に富山の中心はどこかと聞くと 80%の中学生在がファボーレだと答える。つまり中心市街地に行っていない。あっちもこっちも栄えるなんてことはない。
- ・ 観光について、仙台は牛タン、富山であれば寿司と言われるが、仙台は牛たん通りがあり、お店がどこにあるかすぐわかるのに対して、富山はどこに寿司屋があるかわからない。CiC を全部寿司屋にするつもりでやらないといけない。
- ・ 森前市長が道路の白線引きのために、2,000 万円から 3,000 万円かけたと言っていたが、横断歩道の白線など消え消えになっているところがある。これから自動運転になってきて白線がないとどうやって走るのか。
- ・ 駅の北側はよく見るとすごく汚い。草がぼうぼうだったり、体育館の壁も汚い。
- ・ 大雪も昔はみんなでやっていたが、今は市に電話をかけて早く除雪の手配をしてくれとなる。何か、もっとみんなで良くしようという機運を作ることが大事だと考える。

部会長

- ・ かなり本音の部分を書いていただいて、構造的な欠陥となったものにメスをきちっと入れてかなきゃいけないなということが伝わってきた。
- ・ まだご意見等あると思うので、メールなり、ファックス、手紙等でいただければ。

事務局

- ・ 次回において、今日いただいたご意見、質問等含めて資料の中で、市の意見、考えを提出させていただきたいと思う。

以上